## 第25回神奈川大学全国高校生俳句大賞 最優秀賞/選者賞/入選作品リスト (筆ぐるめ30シリーズ)

	第25回神奈川大字全国高校会	王俳句大賞	耳	最優秀買/選者買/入選	作品	リスト(聿ぐるめ30	シリ	ース)
No 賞名	高校	氏名		一句目		二句目		三句目
1 最優秀賞	秋田北高等学校	角崎 良佳	_	百日紅引き戸のきしむ祖父の家	1-2	夏惜しむ潮の香りのする列車	1-3	レコードのノイズ優しき晩夏かな
2 最優秀賞 3 最優秀賞	旭丘高等学校 徳山高等学校	渡邉 美愛	2-① 3-①	セーラーの襟僧らしき春の朝 向日葵の群ゆれてゐる忌中かな	3-2	実るなと掴む乳房や春嵐 まつしろな空を見てゐる立泳ぎ	2-3	同性の我らへ桜蘂落ちる 水浴びの象座りこむ敗戦日
4 最優秀賞	松山東高等学校	宇都宮 駿介	4-①	「どちらでもない」ばかり選んで月朧	4-2	夏の野やいつか自分が入る墓	4-(3)	スページで終わる戦争鰯雲
5 最優秀賞	西日本短期大学附属高等学校	早川 彰太郎	5-①	泥汗の染むユニフォーム手洗いす	5-2	雪暗や土の重たきランニング	5-3	炎帝の弾丸スロー走者刺す
	(1) 神奈川大学附属高等学校	神谷 茉子	6-①	炎昼や吹いたラッパは鉄の味	6-2	春風よ肥えた重圧吹き飛ばせ	6-3	弟の匂いが変わる花火の日
7 選者賞(大串 章賞)	水沢高等学校	鈴木 綾乃	7-①	二月や母のルージュをつけてみる	7-2	紙ふうせんつぶす弟の反抗期	7-3	亡き祖母の鏡を磨く良夜かな
	(1) 神奈川大学附属高等学校	里見 直哉	8-①	空統べる入道雲の凱旋や	8-2	葉を散らす瀑布打ち出す水礫	8-3	雲泥が交わる干潟ここにあり
9 選者賞(長谷川 櫂賞		渡邉 美愛	9-①	いもうとの目は春天を映さない	9-2	白杖へ背丈届かず風光る	9-3	借春やドレミの唄をなぞる指
10 選者賞(復本一郎賞)		山本 涼香	10-①	卒業式泣く約束を交はしけり	10-2	鼻水をすする送辞や猫柳	10-3	
11 入選	旭川実業高等学校	笹村 舞子	11-①	峠越すバスを待ちたる白日傘	11-2	日の盛り何度も祖母を振り返る	11-3	文机に影映りたる良夜かな
12 入選	旭川東高等学校	富樫 煌	12-①	ベンチみな制汗剤の匂いして	12-2	応援のテンポ速まる草いきれ	12-3	スーツケースの中はまだ甲子園
13 入選	旭川東高等学校	冨樫 煌	13-①	白樺の中の舗道や春の雨	13-2	夕霞古墳の二つある盆地	13-3	小鳥来てカーナビのやや遅れたる
14 入選	弘前高等学校	葛西 麟太郎	14-①	三点差追う一振りや青嵐	14-2	髪洗う世界は闇に閉ざされて	14-3	空欄のなき答案や十月来
15 入選	弘前高等学校	小島 わこ	15-①	七月を踏み締めてローファーの黒	15-2	竜淵に潜み目の合ふかもしれぬ	15-3	人の死ぬ本を避けたる良夜かな
16 入選	弘前高等学校	小島 わこ	16-®		_	おかえりのやうに匂ひし秋刀魚かな	16-3	
17 入選	花巻北高等学校	千田 大和	_	ブランコを一年生に譲る朝	_	花冷えや優先席に一人きり	17-3	
18 入選	水沢高等学校	小野寺 羽奈	_	夕虹や瀬戸の匂いの旅鞄	-	革靴に深き皺あり秋の風	18-3	
19 入選	水沢高等学校	菊地 真帆	19-①		_	夕立や祖父の心電図の波形	19-3	
20 入選	水沢高等学校	櫻田 樹里	_	風光る団地の廃墟の壁に苔	_	草いきれ鉄骨むき出しの廃墟	20-3	
21 入選	水沢高等学校	鈴木 綾乃	_	風薫る水筒に傷ひとつ付け	_	レモン水飲む心臓冷えるまで飲む	21-3	SERVE - 7 T-T-MAC/MIS/ H-S/
22 入選 23 入選	水沢高等学校	鈴木 綾乃	22-①		-	赤紙の文字こまごまと空っ風	22-3	
	水沢高等学校	及川 華凛	_	凍星や教急車の音止む我家 なと吹く首等の音とぎれがた	_	冬の月担架からみえる母の腕 夏の星賢治の声がきこえくる	23-3	
24 入選 25 入選	水沢高等学校	及川 華磦 引地 佳歩	24-①	父と吹く草笛の音とぎれがち 沈黙や祖母と実梅のへたを取る	-	夏の星賢治の声がきこえくる 姉は恋しているらしい雨の月	24-3	
26 入選	水(水南等子校) 葵高等学校	伊藤 萌恵	_	がたで が が が が が に を 取る が が に を 取る	-	片恋や追憶の君と秋の風	26-3	
27 入選	安積黎明高等学校	形膝 明忠 戒能 李咲	-	焼けた空入垣裏をキャンハスに 網戸越し一ピクセルに見た景色	-	知らない家の戸にも揺れる風鈴	27-3	
28 入選	多個条列向号于1X 磐城高等学校	小野 心愛	-	日傘さしプラネタリウムから帰る	-	秋めくやアンモナイトを発掘し	28-3	23777422 - 77117 CAGE - 1
29 入選	磐城高等学校	榎本 佳歩	_	恋したいまま七月の巡り来る	_	草いきれ伝えきれない好きの数	29-3	
30 入選	結城第二高等学校	和田 菜々子	_	尾ひれまで我がもの顔の熱帯魚	_	蛍火のまぶたの消える朝かな	30-3	
31 入選	足立高等学校	荒井 よつば	-	弟の強い筆圧雲の峰	-	治りかけの額のにきび風光る	31-3	
32 入選	海城高等学校	尾崎 貫太	-	急行の鈍行を待つ遠霞	-	掌に静脈の美し岩清水	32-3	
33 入選	海城高等学校	尾崎 貫太	_	秋澄むや地蔵の鼻の苔むして	-	立て札に異国語四つ草いされ	33-(3	
34 入選	海城高等学校	蒋 騰	_	気が強き鰆のごとき目をしてゐる	_	老人の照れて机の臭き初夏	34-3	
35 入選	国士舘高等学校	星本 晴秋	_	涼しさや祖母が食器を濯ぐ音	_	最後までボール追いかけ酷暑かな	35-3	
36 入選	目黒学院高等学校	根石 真弥花	_	春風と先生の声が子守歌	36-2	新学期明けても暮れてもまたテスト	36-3	入学式はじめにするは美男探し
37 入選	目黒学院高等学校	山本 莉緒	37-①	髪なびく自転車とばす春疾風	37-2	五月晴満員電車見送って	37-3	梅雨空やマスク生活早二年
38 入選	立教池袋高等学校	辻村 幸多	38-①	階段は裏も段なす蝶の昼	38-2	しづしづと海満ちてくる西日かな	38-3	やはらかき泡ほど苦し髪洗ふ
39 入選	慶應義塾湘南藤沢高等部	魚地 妃夏	39-①	夕顔や百葉箱で待ち合わせ	39-2	夕凪やズボンをめくる手の血筋	39-3	夕立や左側だけ濡れた服
40 入選	慶應義塾湘南藤沢高等部	白濱 遼平	40-①	薫風や水平線も雲に入る	40-2	昼顔や異郷の病床にひとり	40-3	夜九時の新宿駅や夏了る
41 入選	相模女子大学高等部	本多 香鈴	41-①	会う前に直す前髪春時雨	41-2	薄色のスカートの裾夏隣	41-3	琴爪を外し引退夏の果
42 入選	湘南高等学校	泉 まいこ	42-①	振り向けば椅子まで届く陽の光	42-2	さみしさは互い違いに空いた席	42-3	好きだけど好きじゃないから好きなんです
43 入選	横浜翠嵐高等学校	齋藤 妃樂	43-①	神様が絵具溢して夏蕨	43-2	雲海の夕日世界は孤独なり	43-3	竜淵に潜み列車は鉄橋へ
44 入選	横浜翠嵐高等学校	相原 乙葉	44-①	かたつむり傘をさす子の手の中に	44-2	ヨーヨーの浮かぶ水面に夏の我	44-3	草いきれかきわけ捜すフリスビー
45 入選	横浜翠嵐高等学校	河合 菜々子	45-①	曾祖母の爪にひびあり落花生	45-2	鉄塔や夕空を裂き燕去る	45-3	腑に落ちぬ顧問の叱咤法師蟬
46 入選	村松高等学校	鈴木 璃央	46-①	蟬の声遠く聞こえる帰り道	-	桜道水面に写る桃源郷	46-3	
47 入選	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校	北 康生	47-①	白雲や球児走りて汗を灼く	47-2	朝練の汗を飛ばして漕ぐペダル	47-3	炎天や取りそびれたる化け胡瓜
48 入選	長野西高等学校	上原 由衣	_	春の宵新居で開くダンボール	-	山笑ふバイクにテント積んで行く	48-3	H - DC ( ) - T ( - L W) ( ) C ( - L W)
49 入選	飛驒神岡高等学校	中島 咲音	_	牽牛花国境跨ぐ医師団よ	-	朝一の母のシャウトよ牽牛花	49-3	
50 入選	吉城高等学校	谷口 結子	_	畑から祖父の呼ぶ声初胡瓜	_	祖母の膝枕夢見る夏座敷	_	玄関に母とおそろい夏帽子
51 入選	岡崎東高等学校	入江 真凛	_	夏の暮老舗菓子屋の店仕舞い	-	裸足で踊る少女へと星流れ	_	朝露を瓶に集めるおまじない
52 入選	岡崎東高等学校	河合 風芽	_	夜半の秋ヒップホップを口ずさむ	_	ばら銭を一つずつ出す残暑かな	_	残る虫明日のテストを乗り切れば
53 入選	豊橋西高等学校	中村 颯汰	-	前屈の背中押さるる草いきれ	_	七月や飛行機雲だけが残る		画鋲の穴の満たされなくて夜長
54 入選 55 入選	名古屋高等学校 名古屋高等学校	鈴木 哲平 服部 亮汰	_	蚊柱や雨水溜まる一斗缶 ペリカンの喉膨れたる十月来	_	七輪を挟んで秋刀魚一匹を 和太鼓の胴の肥えたる良夜かな	_	□ 草いきれ盆栽の乗る室外機 □ 秋涼しプテラノドンの骨吊られ
56 入選	名 立 産 尚 寺 子 仪 洛 南 高 等 学 校	版部 売込 伊藤 栞奈	-	黒鍵に應うっすらと油蟬	-	和人政の胴の肥えたる民牧かな 秋霖や廊下に異国語の響く		棟で星や首の短き肖像画
57 入選	洛南高等学校	田中 涼太	-	鴨や三角点に日の当たる	-	秋燕路面電車は終点に	57-3	
58 入選	洛南高等学校	富嶋 大晃	_	挨拶もせずに出て来て春落葉	_	山椒魚十貫の身を翻す	_	) 虫すだくけふ生まれきしいつびきも
59 入選	八尾高等学校	間部 賢杜	_	滝壺の黒き水底おもちゃ箱	_	砂の上空のコップに水中花	_	だんじりや三年振りの祭りの音
60 入選	神戸大学附属中等教育学校	松崎日和	_	節電はひとまずお預け酷暑なり	_	リビングの素足が伝える雨予報	_	心沸く三年ぶりの花火音
61 入選	攤高等学校	大杉 悠真	-	緑陰に隠る冷たき聖火台	-	夏の海うつぼの如き欠伸して	_	境内に砂利の音響き夏の月
62 入選	攤高等学校	加藤 湊人	_	約束を破りたくなる春霞	_	白日傘魚暴れる音がする		草いきれ地下に白骨あると思ふ
63 入選	攤高等学校	田村 謙悟	-	自転車のフレーム光る残暑かな	_	初秋なり自転車で川ふたつ越ゆ	_	初秋や大学ノート新しき
64 入選	桐蔭高等学校	鎌田 琉夏	64-①	仏壇のバナナの黒くなりにけり	_	物置きの祖母の日傘を持つてゆく		参考書だらけの机みかん一つ
65 入選	徳山高等学校	三浦 凪沙	65-①	卵白はいつも余れり春霞	65-2	バス停や風船持たされてをりぬ	65-3	シクラメン舌の火傷は痛みをり
66 入選	徳山高等学校	山本 涼香	66-①	風船を割る子はまぶた閉ぢまいと	66-2	風船に白き献血の広告	66-3	風船を渡す子のなきピエロの眼
67 入選	徳山高等学校	今元 春樹	67-①	弟には弟の友初燕	67-2	乙鳥や鍵当番は二周目へ	67-3	百円を募金した朝つばめ飛ぶ
68 入選	徳山高等学校	大迫 悠真	68-①	継父の独言を聞く朝寝かな	68-2	鏡台のもの晶らかに春の昼	68-3	洗礼の赤子のあたま風光る
69 入選	徳山高等学校	增野 月麦	69- <b>①</b>	珈琲の染み気になつてゐる五月	69-2	短夜やベリーダンスの息遣ひ	69-3	麦茶飲み光る従兄弟のへそピアス
70 入選	今治西高等学校	越智 夏鈴	70-①	山笑う車内に三通りの寝息	70-2	新装のパン屋ののぼり山粧う	70-3	眠る山光の幕の下りる雲
71 入選	今治西高等学校	越智 夏鈴	71-①	非常時のボトルの水や寒厳し	71-2	枇杷の花走るナースの手に書類	71-3	しわのない服着せられし冬の犬
72 入選	今治西高等学校	越智 夏鈴	72-①	郭公や10年前のニュータウン	72-2	カンナ咲く対岸のごみ投棄場	72-3	ストーブの火消えて駅の猫去りぬ
73 入選	松山東高等学校	宇都宮 駿介	73-①	七月や空の鞄で旅に出る	73-2	秋刀魚食う最後は愚痴となる会話	73-3	父の背のひときは広く秋祭
			1	パレカーの 門マス レーフ カノ 本郎	74-(2)	万物のうららかに影重ねあふ	74-3	土掘れば日が及ぶなり春暑し
74 入選	立花高等学校	古賀 鈴奈	_	パトカーの隠るるところなく春野	_		_	
75 入選	西日本短期大学附属高等学校	古賀 鈴奈 寺崎 鳳飛	_	岩肌の大きなへこみ滝凉し	_	風鈴の音の沈みゆく夜の底	75-3	
75 入選 76 入選	西日本短期大学附属高等学校 興南高等学校	寺崎 鳳飛 安和 音南	75-① 76-①	岩肌の大きなへこみ滝凉し 風船の日ごとに色の濃くなりぬ	75-2 76-2	風鈴の音の沈みゆく夜の底 箱庭や人置く爪の美しく	76-3	星凉し一人バイクを走らせる 蚊柱を散らしてゆける三輪車
75 入選	西日本短期大学附属高等学校	寺崎 鳳飛	75-① 76-①	岩肌の大きなへこみ滝凉し	75-2 76-2	風鈴の音の沈みゆく夜の底	76-3	星凉し一人バイクを走らせる

【リスト活用方法】①筆ぐるめ30シリーズを立ち上げ、「うら(レイアウト)」タブをクリック後、「イラスト」ボタンをクリックしてください。 ②画面左側のイラストグループ内「神奈川大学全国高校生俳句大賞」フォルダをクリックしてください。 ③各サムネイル画像の下に「賞名+番号+○番号」(例:最優秀賞1-①)が表示されております。 ④ご使用になりたい俳句の「賞名」+「番号+○番号」を本リストよりご確認いただきご利用ください。